



— はばたけ 凌雲の志 —

志士

第 15 号 能登半島地震特別号

令和6年3月発行
なつの元志後援会
いみず志士の会

射水市北野1558-14
TEL(0766)52-6316
FAX(0766)52-6317

ご挨拶

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃、射水市の住み良いより良いまちづくりにご理解とご協力を賜りますとともに、私の政治活動に対しましてもご支援ご協力を賜っておりますこと、心から深く感謝を申し上げます。

さて、去る1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」では、射水市におきましても震度5強を観測し、大きな揺れや液状化により、市内各所において多くの被害が発生いたしました。この震災により被災された皆様にご挨拶を申し上げます。

射水市では、地震発生後、直ちに災害対策本部を立ち上げ、市民の皆様の安全確保を最優先に災害対応に取り組んだところであります。その際、地域振興会や自治会・町内会の皆様には、地元の避難所運営などにご協力をいただきとともに、企業や団体の皆様からは資機材、食料品等の物資の提供や支援金なども寄せていただいたところであります。ご支援・ご協力を賜りました全ての方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

現在、2月1日から、災害対策本部を被災者支援・災害復興本部に切り替え、被災された方々の生活再建と災害からの復旧・復興を本格化させているところであります。今後も、市民の皆様が一日も早く日常を取り戻し、将来に向けて進んでいけるよう全力で取り組んでまいります。



内川近辺を視察



新湊漁港を視察

さて、令和6年度の当初予算につきましては、被災者支援や公共インフラの復旧など最優先で取り組むべく、令和5年度3月補正予算と一体的に編成し、災害復旧・復興に必要な予算を確保したところであります。

また、射水市が幅広い世代、特に未来世代から選ばれるまちとして発展していけるよう、新たな取組へのチャレンジや質の高い市民サービスを提供するとともに、子ども子育て支援や防災・減災対策といった喫緊の重要課題にも予算の重点配分を行いました。この結果、一般会計当初予算は410億9,200万円となりました。年初から大きな災害に見舞われ、困難な状況に直面しておりますが、市民総ぐるみでこの困難を乗り越えるとともに、市民一人ひとりが幸せや豊かさを実感できるまちの実現に邁進してまいります。

皆様方におかれましては、更なるご指導・ご鞭撻のほどよろしく
お願いいたします。

末筆ながら、皆様方のご健勝と
ご多幸を祈念いたします。

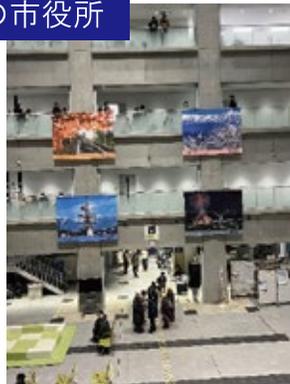
射水市長 夏野元志



避難

地震発生直後の市役所

テレビから聞こえてくる避難を呼びかける声に、たくさんの方が避難されました。市役所には約1100人の方が避難されました。本来ならば市役所は避難所ではありません。しかしながら、身を守ろうと逃げて来られた市民の方の姿にほっとしております。射水市では避難所に指定された場所の他、避難所に指定されていない場所にも多くの方が避難され、最大で76箇所、約12800人の方が避難されました。



(避難者数)	指定避難所	7400人
	指定避難場所、津波避難ビル	1250人
	指定避難所以外の施設	4158人

避難の際、市内の道路で渋滞が発生してしまいました。ハザードマップには津波が最大で3メートルで、どこの範囲の方がどの方向に逃げるかを明記しております。時間のある時に読んでいただきたいと思います。しかしながらハザードマップの更新がなく、前に配布されたものなので失くした方もいらっしゃいます。行政から定期的な配布すること、読んでいただけるよう呼びかけることが今後の課題です。



避難所がなかなか開かず、窓ガラスを割って入った方がおられます。緊急の場合その行動はOK!

避難所への支援

避難所にはたくさんの企業から避難者への支援品が届けられ、本当に助けられました。また、市内のホテルには避難者の方々を受け入れていただきました。1月9日、全ての避難所が閉鎖されました。たくさんのご支援をありがとうございました。

新湊中学校



被害状況

道路のひび割れ、陥没による通行止めは20箇所あり、2/26現在、まだ5箇所が通行止めとなっています。液状化は30箇所、陥没76箇所、上下水道や漁業施設、農業施設、市内の建物などにも多くの被害が発生しました。現在、市民の皆様のご協力をいただき、復旧を急いでいます。また、津波は最大1.5メートル押し寄せ、被害を出しました。



港町液状化現象



海王町マンホール隆起

全壊世帯	10世帯
半壊世帯	40世帯
準半壊世帯	68世帯
一部損壊世帯	1779世帯

(2/26現在)

復旧の過程でたくさんの災害ゴミが発生しました。市内のごみ処分場には2/26現在3642トンの災害ゴミが持ち込まれました。今後、建物の解体などにより、さらに増える見通しです。



新湊漁港の液状化



上野地内ひび割れ

被害受付

青森県、及び同縣市町村から職員派遣を受け、家屋調査等にご尽力いただきました。また、長野県千曲市、東京都荒川区、愛知県稲沢市、さらに県内市町村からも総勢71名の職員の方々を派遣していただきました。

液状化の被害の大きかったエリアへの対策には多くの予算が必要となります。そのため国や県と連携し、調整、研究を進めながら復旧を急いでいます。



支援制度

公費解体



半壊以上の認定を受けた家屋等市が解体・撤去

生活応援金



破損した日常生活用品購入のための支援金

災害見舞金



全壊世帯に10万円、半壊世帯に5万円、準半壊世帯に2万円

被災者生活再建支援金



市独自で準半壊世帯まで対象者を拡張

地域活動支援金



公共的構造物等の復旧に係る地域活動を行う自治会等に5万円

住宅の取得支援



全壊・半壊世帯の住宅取得で市内に転居する場合、補助額加算

この他、たくさんの方の支援があります。市のホームページをご覧ください。



詳細はこちら